

心と心、笑顔のリレー



2022年  
1月 発刊

VOL.33



社会福祉法人 済生会支部  
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1  
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122  
医療福祉支援センター  
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131  
<http://www.saiseikai-toyama.jp/>



## 新年のご挨拶

富山県済生会富山病院  
院長 堀江 幸男



あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に振り回された1年になりました。一昨年に流行し始めたCOVID-19は、わずか数カ月でパンデミックに発展し、昨年に入ってからほぼ3カ月の周期で感染拡大を繰り返しました。コロナ収束の「切り札」として大きな期待を集めた新型コロナワクチンの接種が開始となったのは4月で、当院でも11月までの8か月間に、自院と他施設の医療関係者、障害者および高齢者施設の入所者と職員、そして地域住民の皆さんに対し、2回の個別接種を約6100名に行ないました。その間、7月末から第5波が押し寄せたものの、幸い10月以降、感染者数は大きく減少したのは、ワクチン接種の成果であると言われてています。しかし、2回のワクチンを接種しても感染する「ブレークスルー感染」や新たな変異株であるオミクロン株の感染者急増を踏まえて第6波への警戒感が再び高まり、1月7日に富山アラートが発令されました。今年も発熱外来やコロナ専門病床の設置、そしてワクチン接種などの非常時



対応を日常診療の中に加え、地域住民の不安解消に貢献したいと思っております。

さて、COVID-19の影響で地域医療構想などの施策は停滞しています。しかし、同構想については厚労省の検討会で、人口減少や高齢化に伴う病床必要量の推計など基本的な枠組みや考え方を維持しながら、着実に進めることが示されています。そんな中、直近ではコロナ禍での受診抑制と診療報酬の抑制、中期的には人口減少・高齢化の進行と高齢者の価値観の多様化が迫っています。そして長期的には「社会保障の2040年問題」として提起されている世代間と地域間での不均衡、さらには高齢世代の困窮と孤立、その結果としての予防事業の重要性の増大など、複雑に絡む多くの要因により、医療ニーズが今後ダイナミックに変化すると言われています。そのため、地域が真に求めている医療を提供するためには、未来志向型での計画的な取り組みが必要と考えています。当院は、公的病院として、そして社会福祉法人として、さらに恩賜財団済生会として、それぞれの役割をこれからもしっかりと果たしてまいります。そして地域との信頼関係の構築のため、職員一丸となって努力して参ります。

今年もよろしくお願いいたします。





## ● 下肢静脈瘤に対する当院における取り組み ●

2021年11月より下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術治療の実施設に認定されました。

当院非常勤医師の富山大学附属病院形成外科 葛城遼平先生と当院の循環器内科医師とで、下肢静脈瘤に対する治療を施行していきます。

下肢静脈瘤は10人に1人が発症するといわれる非常に高頻度にみられる疾患で、高齢者、女性、肥満、出産妊娠、立ち仕事、家族歴のある方に特に多くみられます。

下肢静脈瘤の形成により、静脈弁の逆流防止機能が働かなくなることによりさまざまな症状を自覚するようになります。下肢静脈瘤の症状としては、下肢のむくみ、だるさ、こむら返りがあり、進行すると色素沈着や下腿の難治性潰瘍に至ります。実際に瘤を認めなくとも、早期に静脈逆流を発見・治療することで重症化を防ぐことができます。

当院では、レーザーによる血管内治療の他、ストリッピング術、瘤切除術、高位結紮術も施行致します。

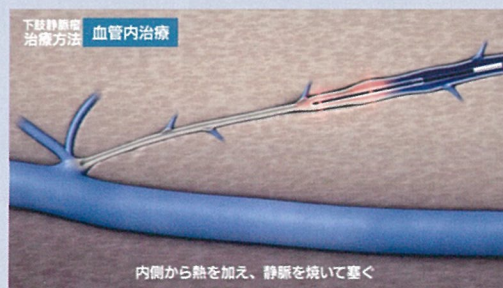


(下肢静脈瘤)

血管内治療は、大伏在静脈および小伏在静脈の静脈瘤が適応となります。局所麻酔下に、エコーを使用して、血管内にカテーテルを挿入し、レーザーで発生した熱により静脈を焼灼および閉塞する治療方法です。



静脈に針を指し、そこからファイバーやカテーテルを挿入



内側から熱を加え、静脈を焼いて塞ぐ

(血管内治療)

保存的治療としては、医療用のストッキングに関して、弾性ストッキング圧迫療法コンダクターの資格を持つ医師および看護師により、フットケア指導を施行いたします。

静脈瘤や右表のような症状を認める患者さんがいましたら、形成外科外来(火曜日午後)、フットケア外来(月曜日午後)もしくは循環器内科外来にご紹介ください。下肢静脈超音波検査で精査の上、適切な治療法を多職種チームで検討させていただきます。

### 下肢静脈瘤の症状

- 足の血管が浮き出て見える
- ふくらはぎがだるい・重苦感
- 足のむくみ
- 足のこむら返り(つり)
- 足がほてる
- 足のむずむず感
- 足のかゆみ・湿疹
- 足の色素沈着
- 足の潰瘍

(表)

文責：済生会富山病院 内科 茶谷 健一



## 当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

### 診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**  
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**  
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**  
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

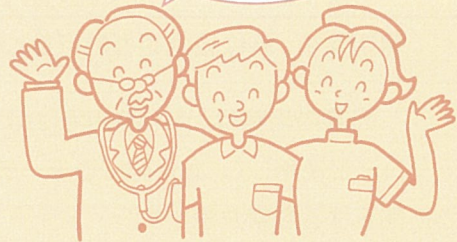
### 検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**  
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しく下さい。

検査予約時間	CT	心臓CT
	10:00～11:30 13:30～16:30	月 14:00～15:00 火 14:00～14:30 水 14:00～15:00 木 14:00～14:30 金 14:00～15:00
RI	8:30～11:30 13:30～16:30	
MRI	13:30～16:30	

※造影検査に限り、水曜日は予約不可となりますので、ご了承ください。

検査予約枠を  
拡大しました。  
お電話お待ちしております。



## 富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1120(直通) FAX 076-437-1131(直通)

### ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

### ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

### バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと

### 行動指針

- 私たちは 患者さんの立場にたって行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします

### 患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

#### ①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

#### ②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 療養に専念する責務
- 医療費を支払う責務
- 診療行為に協力する責務
- マナーや規則を守る責務